

第一支部

第一支部情報

(1) 予定

ア. 浦和区健康まつり 2017

(ア) 日時：平成 29 年 11 月 5 日 (日) 10:00 ~ 15:00

(イ) 場所：浦和コミュニティセンター

イ. 支部合同勉強会

(ア) 日時：平成 29 年 11 月 18 日 (土)

(イ) 場所：四季の湯温泉ホテルヘリテイジ

第二支部

平成 29 年度第 1 回第二支部勉強会 座長抄録

防衛医科大学校病院 近藤 忠晴

1. 製品紹介 「フィリップス MRI の最新情報」

フィリップスエレクトロニクスジャパン 宮本 慎也

フィリップスエレクトロニクスジャパンの数ある MRI アプリケーション中から「ITEM2017 報告」と題して、2つの最新技術が報告された。



画像提供：フィリップスエレクトロニクスジャパン 宮本さま

1) Compressed SENSE

フィリップス社が RSNA2016 で紹介した Compressed SENSE は、圧縮センシング (Compressed sensing : CS) と dS SENSE を融合した新しい高速撮像技術である。

CS は可能な限り少ない疎のデータから画像を復元する処理技術で、その処理方法にはデータの「スパース (疎) 性」「ランダムサンプリング」「ノイズ除去のための繰り返し計算」が重要とされている。MRI 画像は k-space データをサンプリングし画像構成を行うが、その性状・処理方法が CS に適応されやすいとされている。

dS SENSE は、フェイズドアレイコイルの各素子の感度情報を利用した SENSE 法に、フィリップス社が業界でいち早く導入したデジタルコイルによって改良された高速撮像法である。この技術は、従来法の SENSE の欠点である SNR の低下とアーチファクト出現を改善しているため、CS のような k-space データの間引き処理にさらなる効果を発揮すると思われる。

Compressed SENSE は、CS と dS SENSE を組み合わせることにより 2D・3D シーケンスの両方で時間短縮が可能であり、軟部組織から MRA まで幅広い領域に対応している。特に、データ容量の多い 3D シーケンスでの効果が高いことは、時間短縮に大きく寄与すると推測される。

フルデジタル MRI 装置で稼働する Compressed SENSE の特記すべき点は 1.5T と 3T の両方の装置に対応しているところである。

引用文献

増井孝之, 三好光春他: 圧縮センシング-臨床 MRI 検査への応用. INNERVISION (29・9) 2014. 61 - 63
 町田好男, 齋藤俊輝: 圧縮センシング (CS) MR イメージング-情報技術による新しい高速撮像法-.
 INNERVISION (28・9) 2013.

2) Amide Proton Transfer (APT) Imaging

APT Imaging は MRI による分子イメージングであり、生体内で生じる Chemical Exchange Saturation Transfer (CEST) 現象を画像化したものであり、生体内では有機化合物である Amide を対象としたものが臨床応用に近いといわれている。CEST は対象組織内のプロトンと水 (バルク水) のプロトンの間で交換が起こる現象であり、脳腫瘍の鑑別や超急性期脳梗塞、放射線治療後の壊死や腫瘍再発の有無といった症例への応用が検討されている。

APT Imaging の原理は対象組織内のプロトンの信号を抑制する飽和パルスを選択的に印可し、そのプロトンが水 (バルク水) に移り信号低下した状態を撮像する。この選択的飽和パルスを連続的に変化させて、水 (バルク水) の信号変化をプロットし z-スペクトルという信号低下曲線を得ることで、MRI では直接観察できなかった低濃度化合物を間接的に評価する。

当院では、MRI による脳腫瘍の鑑別に MR spectroscopy などが用いられているが診断に苦慮するケースもあるようである。今後は、APT Imaging の登場により MRI の新たな展開を期待している。

引用文献

梶尾理, 吉浦敬他: 脳腫瘍の amide proton transfer (APT) イメージング. INNERVISION (27・9) 2012. 29 - 32

2. 一般研究 MRI 担当 座長 防衛医科大学校病院 近藤 忠晴

「フィリップス 3.0T MRI の使用経験」 In-Bore Solution の紹介
 フィリップスエレクトロニクスジャパン 宮本 慎也

今回紹介していただいたフィリップス社の「In-Bore Solution」は、医療機関向けライティングソリューションであり、患者さまが検査室内に投影される映像と音楽を楽しみながら MRI 検査を受検できる環境改善ツールである。

FPD の登場や CT の多列化により放射線領域の検査の短時間化は目覚ましい。MRI 装置の高速撮像も進化しているがそれをも上回る多彩なシーケンスの登場により実際の検査時間は従来と大きな変化がないのが現状である。MRI 検査時の「狭い」「長い」「うるさい」の 3 大悪をいかに軽減できるかが画質改善と患者さまの負担軽減につながる。

「In-Bore Solution」により、下記の課題が改善できるとフィリップス社の HP に掲載されている。

- ・映像と音楽でリラックスした環境で検査を受けることが可能
- ・検査時の不安とそれにより発生する不意の挙動による再撮影の低減
- ・検査を受けた患者さまとそこで働くスタッフの体験が他施設との差別化になり、結果、患者数の増加と

検査自体のスループット向上に貢献



画像提供：フィリップスエレクトロニクスジャパン 宮本さま

座長集約

埼玉県済生会川口総合病院 森 一也

平成 29 年度第 1 回勉強会の一般研究セッションにおける、埼玉医科大学病院 堀切 直也 氏による「散乱線補正処理を用いた画像の物理評価と視覚評価」の座長を務めさせていただいた。本演題は、平成 28 年に埼玉県で開催された関東甲信越診療放射線技師学会大会において、堀切氏が発表を行ったものを改編していただき、散乱線補正処理の原理などを付け加えてより詳しく解説していただいた。近年では散乱線除去グリッドを用いない散乱線補正処理が普及されてきているが、適切な運用方法等多くの課題が挙げられている。学会大会の DR セッションにおいても、多くのユーザーが注目し近年の DR で最も勢いのある分野であるといえる。

今回の発表では、散乱線補正処理使用時における CNR・IQF・MTF・NNPS・DQE による物理評価に加え、視覚評価も併せて行うことにより、散乱線補正処理の適切な運用方法の検討が行われた。胸部及び腹部条件下では、実グリッド画像に比べ、散乱線補正処理画像でより高い物理評価の結果が得られた。ま

た視覚評価においても散乱線補正処理画像でより高い視認性が得られた。IQFの結果より、散乱線補正処理画像では、実グリッド画像に比べ、胸部撮影で約17%の線量低減、腹部撮影で約14%の線量低減が可能であることが考察された。今回の発表では、リミテーションとしてPMMAやバーガーファントムなどのファントム画像を用いた評価による考察や、散乱線補正処理の臨床条件との違いが挙げられる。今後は今回の結果を基に、臨床に近い条件での評価やより信頼性の高い視覚評価の選択等、散乱線補正処理の最適な運用法についてさらなる検討を行っていただきたい。

今回の発表を通じて、適切な散乱線補正処理の活用方法の一助となることを期待したい。また多くのことに疑問を抱き、疑問点を解消するため日々研究に挑戦している堀切氏の発表は、聴講していた若手技師の刺激になったのではないかと思う。

座長集約 3) X線検査

上尾中央総合病院 内田 瑛基

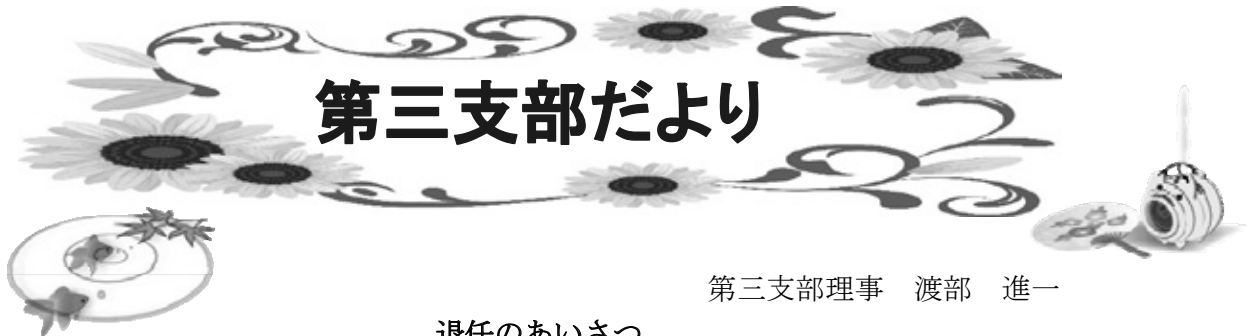
平成29年度第1回勉強会第3セッション「X線検査」では、所沢ハートセンターの柴俊幸先生を講師に迎え、『Q & Aでステップアップ～あなたの疑問はみんなの疑問?～』というタイトルで発表していただきました。本セッションは4月ということで、新人や先輩となった若手技師が抱きやすい悩みや疑問に対し、回答することをコンセプトとしました。一つ目の最初の疑問は「診療放射線技師として業務を行うために必要な知識をどのように養っていくべきか?」についてで、まずは異常所見を見分けるために正常解剖・画像解剖を学習する。次に病気や疾患の鑑別方法を知り、鑑別に必要な検査方法(造影技術・理論)を検査目的に合わせて選択する能力を養う。その後、実際に検査を行った結果から復習を行っていくことが重要であります。柴先生の実体験も添えられており、大変理解しやすく、即実践に移せる内容でした。

2つ目は「臨床の画像診断に、機器の原理や画像特性の知識は必要であるか?」という疑問に対して回答していただきました。機器の原理や画像特性については、さまざまな参考書などで冒頭に述べられています。しかし、理解するのは難しく、どのように臨床に活用しているか知ることが重要であるという点が焦点となりました。柴先生には、画像再構成関数や空間周波数曲線の見かたなどの原理を、実際の臨床画像と併せて分かりやすく説明していただき、臨床で有用な画像を提供するには、機器の原理や画像特性を理解することが大切であると再認識させていただきました。

検査を行っていく上で、正常解剖・画像解剖や病気についての知識、さらには機械の原理や検査方法など多くのことをわれわれ診療放射線技師は学習する必要がありますが、勉強方法は自身や自施設での学習だけでなく、他者の解釈や知識を学ぶことができる外部の勉強会を有効に活用することも大切であると分かりました。本セッションは、私も含め、参加者にとって理解が深まる、大変有意義な時間となったと思います。

今後、私も柴俊幸先生のように若手技師の方が参加したくなるような勉強会に携われるよう邁進したいと思います。

最後に、本セッション開催に当たり、未熟な私に座長を託していただきました、大西支部理事、および第二支部役員の皆さまに厚くお礼申し上げます。

第三支部

第三支部理事 渡部 進一

退任のあいさつ

拝啓

会員の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、6月18日（日）に行われた定期総会を機に、支部理事を退任させていただきました。

平成26年度から28年度までの3年間の就任でしたが、在任中は、埼玉県診療放射線技師会の役員、委員会、また関係者の皆さまをはじめ多くの会員の方々の温かいご指導とご支援、ご協力をいただきました。特に、平成28年に行われた関東甲信越診療放射線技師学術大会では、皆さまからも親しく意見をお伺いでき、私の支部理事としての取り組みに大いに参考にさせていただきました。これまでにお世話になった方々には心から感謝し厚くお礼申し上げます。

今後は新理事に就任しました山岸氏のもとこれまで以上に展開されますことを熱望しています。結びに当たり、皆さまのますますのご健勝を祈念し退任挨拶と致します。ありがとうございました。

敬具

【平成29年度 活動予定】

・平成29年度第1回勉強会

日時：平成29年6月23日（金） 19：00～

場所：ウエスタ川越 2階 会議室1（川越市新宿町1丁目17-17）

内容：別途HPをご参照ください

・納涼会

日時：平成29年7月22日（土）

場所：詳細は決まり次第ホームページにアップします。

- ・リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 川越
 日時：平成 29 年 9 月 16 日（土）、17 日（日）
 場所：川越水上公園 芝生広場
- ・ボーリング大会
 日時：平成 29 年 10 月 13 日（金）
 場所：詳細は、決まり次第ホームページにアップします。
- ・第 31 回川越市健康まつり
 日時：平成 29 年 10 月 29 日（日） 10：00～15：00
 場所：ウェスタ川越
 開催概要について詳細は未定

*今後の活動・お知らせの詳細は、第三支部ホームページをご覧ください
<https://saitama3shibu.jimdo.com/>

- 巻頭言
- 会告
- お知らせ
- 連載企画
- 誌上講座
- 学術大会
- 優秀学術大会
- 総会資料
- 新役員
- 本会の
- 各支部情報
- 各支部掲示板
- 求人
- 議事録
- 会員の
- 役員名簿
- 申込書
- 年間スケジュール

第四支部**公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰 祝賀会報告**

第四支部 柏瀬 義倫・齋藤 幸夫

平成 29 年 6 月 2 日（金）、深谷グランドホテルで、深谷赤十字病院 清水文孝氏の公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰の祝賀会が執り行われました。祝賀会には、院内・第四支部・清水氏と親交の深い方々含め、約 190 人もの出席者が集まり、盛大な祝賀会となりました。

華やかな会場の中、多くの方からのご祝辞、清水氏のあいさつ、花束・記念品の贈呈が行われ、笑顔の溢れた祝賀会となりました。

第四支部所属 清水氏の表彰は、同支部会員の喜びでもあります。

このたびは誠におめでとうございました。



表彰状



会長あいさつ



190人集まりました



清水氏あいさつ

公衆衛生事業功労賞を祝う会 報告

第四支部 齋藤 幸夫・萩原 貴之

平成 29 年 3 月 25 日（土）、マロウドイン熊谷で、羽生総合病院 長谷川英治氏の公衆衛生事業功労賞を祝う会が行われました。長谷川氏と関わりの深い約 90 人の方々が出席され、盛大な祝賀会となりました。

華やかな会場の中、多くの方々からのご祝辞、長谷川氏ご本人のあいさつ、花束贈呈、余興でのユニークなパフォーマンスなどが行われ、会場全体が笑顔に包まれました。

また、羽生総合病院放射線科の皆さまによる「恋ダンス」のサプライズムービーが流れ、会場は大いに盛り上がりました。

第四支部所属 長谷川氏の表彰は同支部会員の喜びでもあります。

このたびは誠におめでとうございました。



第20回 秩父市保健センターまつり 参加報告

第四支部 横田 文克・齋藤 幸夫

平成29年6月4日(日)「第20回 秩父市保健センターまつり」が、秩父市保健センターで開催されました。埼玉県診療放射線技師会第四支部は秩父郡市の診療放射線技師の方々とともに参加してイベントを盛り上げてきました。当日は初夏のすがすがしい陽気と澄み渡る青空の下、天候に恵まれた開催となり、健康相談や体力測定など、健康に関わる催しのほか、屋外でも秩父屋台ばやしの演奏やさまざまな出店で賑わいを見せていました。

第四支部では「パネル展示」「骨密度測定」「放射線相談」「WS 機器展示」「スーパーボールすくい」を企画しました。主催側の企画により、同一フロアに血管年齢測定コーナーと管理栄養士による栄養相談のコーナーが設置され、血管年齢測定→骨密度測定→栄養相談へご案内するように、他団体との連携をはかりながら、最後まで行列が途切れないほど好評のうちに終了しました。最終的に骨密度測定、医療画像展に約300人、スーパーボールすくいに150人、被ばく相談に1人の来場があり、多くの方々がお越しくださいました。

イベントの参加は市民とのふれあいの場、診療放射線技師を知ってもらう良い機会であるとともに、地域の医療関係者や診療放射線技師同士の交流の場になっています。

今後も継続して参加し診療放射線技師という職種や技師会の活動についてPRできればと思います。

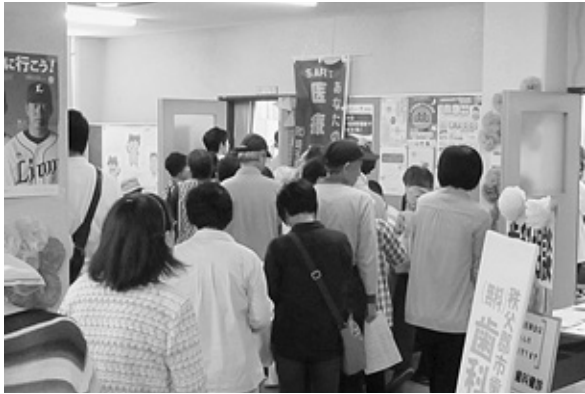
実行委員の皆さん、ご協力いただいたメーカー様大変お疲れさまでした。

秩父市保健センターまつり 実行委員

会員名	施設名	会員名	施設名
齋藤 幸夫	深谷赤十字病院	豊田 薫	小鹿野中央病院
清水 浩和	熊谷総合病院	旭 拓也	秩父病院
大野 渉	羽生総合病院	新井 孝史	皆野病院
萩原 貴之	行田中央総合病院	阿佐美 裕史	皆野病院
新井 偉生	東松山市立市民病院	三上 紀之	皆野病院
高井 太一	小川赤十字病院	勅使河原 真由美	秩父臨床医学研究所
横田 文克	秩父市立病院		

協力

コニカミノルタヘルスケア(株) 本多 さま



朝から盛況



快晴



骨密度測定



パネル・機器展示



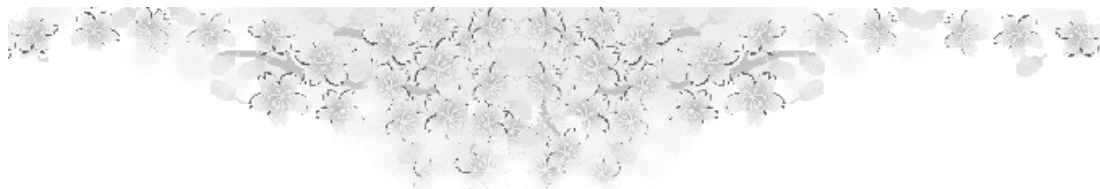
スーパーボールすくい



皆さまお疲れさまでした

巻頭言
告
お知らせ
連載企画
誌上講座
学術大会
学術大会
優秀賞
総会資料
新役員
あいさつ
動本
会の
強各
会支
情報部
勉
掲各
示支
板部
コ求
ーナ
ー人
議
事
録
動会
員
向の
役員
名簿
申F
込A
書X
ジ年
間
一
ス
ル
ケ

第五支部



第五支部

情報交換会

場所 春日部市民活動センター〔ふれあいキューブ〕

7月27日 19:00～(予定)

8月24日 19:00～(予定)

詳しくは、SARTのHPなどでご案内致します。
(気軽にご来場していただいてご意見などお伺いできれば幸いです)

テーマなど皆さんのご意見をお待ちしています。

ご参加ご協力をお願い致します。

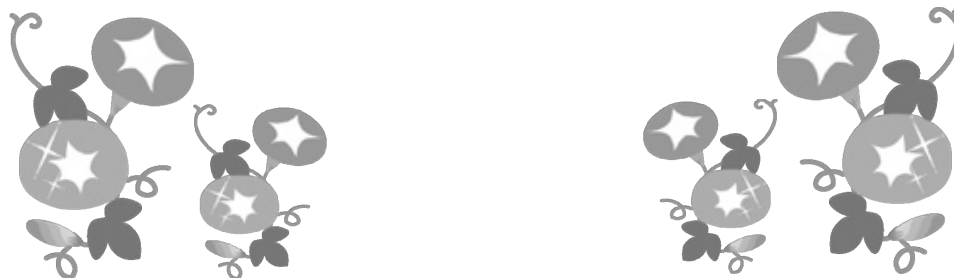


第五支部理事 矢崎 (i-yazaki@sart.jp)



10/8 越谷市民祭りに参加します

情報交換会以外でもご意見ご提案があれば気軽にご連絡ください



地区の活動にご協力いただける方からのご連絡お待ちしております。

下記でもご案内をしております。

<http://sart-daigoshibu.jimdo.com/>

第六支部

埼玉県診療放射線技師会

第六支部

1. 巻頭言 倉内 克憲
2. 六支部 第1回定期講習会報告
3. 平成29年度 納涼会 案内
4. 平成29年度 新役員就任挨拶

巻頭言

何を重視して働くか

JCHO さいたま北部医療センター

倉内 克憲

仕事の早さや効率の良さ、丁寧さや正確性は、どれも働く上で必要な要素です。もちろんそれら全ての能力を兼ね備えていることが理想ではありますが、私自身まだまだ未熟なもので、理想通りにはいかない状況が多々あります。

私は診療放射線技師になって約10年たちましたが、働き始めの頃から意識の持ちようとして、スピードや効率の良さを最も重視して働いてきました。もちろん丁寧に仕事をしていないというつもりはありませんが、時間に追われる事や患者さまを待たせるという事を非常に嫌がってしまう部分があるためか、どちらかといえば丁寧さよりもスピードを重視して働いていた気がします。患者満足度という事を考えても、より多くの患者さまを効率良く検査して、少しでも早く画像を医師の元へ届けることが患者さまの満足に繋がると思って働いてきました。

ただ最近では、丁寧さや正確性を第一に重視する方が、診療放射線技師としてより良い働きができるのではないかと感じています。スピードを第一に考えてしまうと、その時に余裕があるかないかで、仕事のクオリティが一定ではなくなる可能性が考えられます。患者満足度という点では、不安な気持ちを取り除き安心させる事が疎かになっていた時もあると思います。この先、診療放射線技師として更なるステップアップを目指すのであれば私自身はその丁寧さの質を上げなければいけないと考えています。

仕事の早さや効率は確かに重要な要素で、スケジュールが遅れてしまったりはいろいろ支障をきたすと思います。しかし、だからといって雑に仕事をこなしては質が低下してしまう恐れがあります。その辺りのバランスを取ることには中々難しいことですが、置かれている自分の状況を把握しながら、意識下では丁寧さや正確性を第一に考え働いていきたいです。

そのためには自分の知識が十分でなければ、丁寧で確実な仕事も効率の良いスピーディーな仕事もできないと感じているので、これからさらに知識を磨いて理想の働き方に少しでも近づけるように日々精進していきたいと思えます。

平成 29 年度第 1 回定期講習会集約

彩の国東大宮メディカルセンター放射線科 茂木雅和

埼玉県診療放射線技師会第六支部の平成 29 年度第 1 回目となる定期講習会が、去る平成 29 年 5 月 18 日（木）に、さいたま赤十字病院で開催された。今回、さいたま赤十字病院は新規移転後初めての定期講習会開催であったため、遅い時間にもかかわらず 46 人の方々が参加された。以下に僭越ではあるが内容を述べさせていただく。

平成 27 年 6 月 7 日に『最新の国内実態調査結果に基づく診断参考レベル（以下、DRL(s)）の設定』が報告されてから、早 2 年余りとなる。それ以降、数々の勉強会やセミナーなどで DRL または DRLs の内容や適性被ばく線量の講演・講義が組まれてきた。今回、埼玉県診療放射線技師会公益委員会（以下、公益委員会）の方々のお力添えのもと、第 6 支部でも DRL に関する学術講演を開催する運びとなった。勘違いしてはいけない DRL の基本的事項は、『線量限度や線量拘束値のような制限値ではない』という事である。DRL が報告されたからその線量以下で撮影すれば大丈夫、というような考え方はナンセンスであって、各自施設で現在行われている線量が果たして他施設と比較した場合にどのくらいに当たるのか、その参考として用いられるのが適切であるとしている。この集約の読者は大体理解されていると思われるが、再確認のために記述させていただいた。

埼玉県は、上尾中央総合病院をはじめとして医療被ばく低減施設認定を取得されている施設が数多くある。これは、県内での医療被ばくに関する意識がとても高い事を意味し、撮影線量の最適化が進んでいる証拠でもある。公益委員会の方々は、県内各施設の撮影条件をアンケート回収して線量調査をされている。皆さまにもぜひ、埼玉県の医療被ばく低減や撮影線量の最適化に向けてご協力願えればと思う。

講演後は、さいたま赤十字病院の施設見学をさせていただいた。内装はとても綺麗であり、階段を下りると放射線科フロアというのには驚きました。また、機器も最新なものが多く、充実した医療を提供できる施設であることを改めて実感しました。

新病院の施設見学も兼ねて場所を提供していただいた、さいたま赤十字病院放射線科の方々や公益委員会の方々には、この場を借りて深く感謝申し上げます。

第 2 回定期講習会は『救急撮影』をテーマに企画していますので、皆さまのご参加を第六支部役員一同お待ちしております。

第六支部 新役員あいさつ

・埼玉県立小児医療センター放射線技術部 山口 明

このたび、埼玉県診療放射線技師会第六支部の会長に就任しました、埼玉県立小児医療センターの山口です。合同勉強会なども含め、多くの実績を重ねてこられました高嶋前会長の後任ということで、正直荷が重いと感じていますが、学術担当および副会長での経験を生かし、任期を精一杯がんばりたいと思っています。支部活動の目的は、講習会等を通して多くの会員と共に成長していくことで、地域の医療に貢献していくことだと考えております。これから2年間の任期の間、皆さまどうかご支援ご協力をお願い申し上げます。

・彩の国東大宮メディカルセンター 茂木 雅和

このたび、埼玉県診療放射線技師会第六支部の副会長に就任した、彩の国東大宮メディカルセンターの茂木雅和です。今までは支部の学術をメインの仕事として活動してきましたが、今年度からは支部の副会長として、支部の活動活性化を主として行動できたらと考えております。不慣れな点多々ありますが、どうか支部の皆さまのお力添えをいただけたら幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

・さいたま赤十字病院 徳田 光希

昨年度に引き続き、第六支部の会計を担当させていただきます、さいたま赤十字病院の徳田光希と申します。一昨年から六支部の役員として活動に関わらせていただいております。今年度も支部の発展に貢献できるよう精進してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

・さいたま赤十字病院 田中 里奈

今年度より、第六支部の役員を務めさせていただくことになりました、さいたま赤十字病院の田中です。支部役員をやるのは初めてなので分からないことや不慣れなことがたくさんあり、ご迷惑をお掛けするかと思っておりますが自分なりに頑張っていきたいと思っています。これからよろしくお願い致します。

・丸山記念総合病院 木村 浩明

今年度、役員 2 年目になる丸山記念総合病院の木村浩明です。昨年度から引き続き、学術委員として、皆さまの業務に貢献できるような企画内容を考え、第六支部の活性化に努めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

・指扇病院 安川 紘平

昨年度から第六支部の役員を務めさせていただいている、指扇病院の安川と申します。今年度が 2 年目となりますが、前年度以上に支部会員の皆さまのお役に立てるように、頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

・埼玉県立小児医療センター 春日 沙織

今年度も引き続き、第六支部役員を務めさせていただきます、埼玉県立小児医療センターの春日です。昨年度、学術担当として講習会の企画から運営まで行い、多くのことを学ばせていただきました。今年度は、昨年度で学んだことを生かし、より積極的な活動を行っていきたく思いますので、よろしくお願いいたします。

・上尾中央総合病院 仲西 一真

昨年度途中から学術担当として役員を務めている上尾中央総合病院の仲西と申します。第六支部施設の皆さまと定期講習会や学術交流会などを通じて交流を持ち、さまざまなことを学びながら第六支部の運営に関わりたく思います。今後ともよろしくお願いいたします。

・上尾中央総合病院 藤巻 武義

今年度より第六支部総務を担当させていただくことになりました、上尾中央総合病院の藤巻です。納涼会や忘年会など、他施設との情報交換ができるようにさまざまな企画をしていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

・大宮中央総合病院 鈴木 雄貴

今年度より第六支部役員の総務を務めさせていただくことになりました大宮中央総合病院の鈴木雄貴です。初めて役員を担当するということもあり、不慣れではありますが頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

・ 埼玉県立がんセンター 菅野 みかり

今年度より第六支部の編集を担当させていただくことになりました埼玉県立がんセンターの菅野みかりと申します。支部役員を担当するのは初めてなのでご迷惑を多々お掛けすると思いますが、2年間自分なりに精一杯務めさせていただきますと思います。どうぞよろしくお願い致します。

・ JCHO さいたま北部医療センター 倉内 克憲

昨年度から第六支部役員を務めさせていただいている、JCHOさいたま北部医療センターの倉内克憲と申します。今年度は昨年度に引き続き、総務の担当と、新たに広報の方も兼任で担当させていただきます。精一杯務めさせていただきますのでよろしくお願い致します。

- 巻頭言
- 会告
- お知らせ
- 連載企画
- 誌上講座
- 学術大会
- 優秀学術大会賞
- 総会資料
- 新しい役員
- 動本会
- きの強各支会情報
- 掲各示支板部
- コ求ナ人
- 議事録
- 動会員の向
- 役員名簿
- 申込書
- ジ年コ間スルケ